

データセンター機能立地検討調査業務委託 業務説明資料

本業務説明資料に記載した内容には、現在検討中のものも含まれるため、本プロポーザルのみの設定条件とし、業務実施の条件となるものではありません。

1 件名

データセンター機能立地検討調査業務委託

2 履行期間

契約締結日から令和9年3月24日(水)まで

3 履行場所

横浜市内

4 業務目的

近年、生成A Iやクラウドサービスの普及、デジタル化の進展等を背景として、データセンター需要は国内外で急速に拡大している。また、国においては、今後成長が期待される戦略分野への投資促進やデジタルインフラの強靱化、データセンターの地方分散が進められており、データセンターはA I、半導体、情報通信をはじめとする成長分野を支える重要な社会基盤として位置付けられている。

データセンターは固定資産税等による税收確保や企業による新たな投資の誘発などの大きな効果が期待される反面、膨大な電力供給の必要性や景観への配慮など、地域社会や都市インフラへの影響についても十分な検証が必要である。

本業務は、京浜臨海部をはじめ、本市域内におけるデータセンターの立地可能性について、電力供給能力、冷却水の確保、地盤条件等の観点から調査・分析を行うとともに、立地による経済的・社会的効果及び地域への影響を整理し、研究施設や物流施設など他機能との比較検討を行うことで、本市における今後の産業立地及び企業誘致施策の方向性を検討するための基礎資料を作成することを目的とする。

5 業務概要

(1) 立地可能性の検証

データセンターの立地に必要な条件を整理するとともに、立地するデータセンターの規模や機能等の前提条件及び評価指標を設定した上で、本市の臨海部、都心部及び郊外部における立地適性を分析し、それぞれ立地候補地の抽出及び評価を行うこと。

(2) 立地による効果の検証

データセンターが立地する場合に、本市にもたらされる効果について調査・分析を行うこと。なお、分析にあたっては、国内外の事例収集及び関係者へのヒアリング等を実施し、税收効果、雇用創出効果等の定量的効果を把握するとともに、産業クラスターの形成、イノベ

ーション創出、災害時の連携等の定性的効果についても整理すること。

また、本市にとって有効と考えられるその他の効果があれば幅広く整理すること。

(3) 立地による課題及び影響の検証

データセンターが立地する場合に想定される課題及び地域への影響について調査・分析を行うこと。なお、分析にあたっては、国内外の事例収集及び関係者へのヒアリング等を実施し、立地に伴い想定される課題及び影響を整理すること。

(4) 他の機能との比較

データセンターと研究施設、物流施設、その他の機能との比較分析を行うこと。比較にあたっては、「(2) 立地による効果の検証」、「(3) 立地による課題及び影響の検証」の観点から行うこと。

(5) 打合せ協議、議事録作成

(6) 報告書作成

6 成果品及び納入先

本業務の成果品は次に定めるものとし、納入先は、横浜市経済局企業投資促進課とします。なお、成果品、作成した資料及びその著作権は横浜市の所有とし、受託者は横浜市の承諾を得ずに使用または公表しないでください。

(1) 報告書

ア 印刷、製本したもの 3部

イ 電子データ (CD-R 等) 3部

(2) 報告書概要版 (A 3版 4枚程度)

ア 印刷したもの 3部

イ 電子データ (CD-R 等) 3部

7 その他

(1) 作業の遂行にあたっては、本市担当職員と十分に協議し、作業内容、作業の進捗状況について随時連絡し、指示を受け、打合せ協議内容については、打合せ後早急に記録簿を作成して、送付してください。

(2) 本市担当職員の指示等に基づき、業務目的を満足するよう協議・検討を行ってください。

(3) 本業務を実施するにあたり、各分野の検討に精通した人員を配置するとともに、それぞれの検討と整合を図りながら行ってください。

(4) 本業務概要書に定めのない事項については、本市担当職員と協議のうえ決定してください。

(5) 受託者は、業務の実施にあたり疑義が生じた場合には、本市担当職員に申し出て指示を受けてください。